

平成 29 年度 入 学 試 験 問 題

数 学 (文系)

150 点満点

《配点は、一般入試学生募集要項に記載のとおり。》

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は係員の指示があるまで開かないこと。
2. 解答冊子は表紙のほかに 16 ページある。
3. 問題は全部で 5 題ある(1 ページから 2 ページ)。
4. 試験開始後、解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には、これら以外のことを書いてはならない。
5. 解答は解答冊子の指定された解答用ページに書くこと。ただし、続き方をはっきり示して計算用ページに解答の続きを書いても良い。この場合に限って計算用ページに書かれているものを解答の一部として採点する。それ以外の場合、計算用ページは採点の対象としない。
6. 解答のための下書き、計算などは、計算用ページに書くこと。
7. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
8. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
9. 問題冊子は持ち帰ってもよいが、解答冊子は持ち帰ってはならない。

1

(30点)

曲線 $y = x^3 - 4x + 1$ を C とする。直線 l は C の接線であり、点 $P(3, 0)$ を通るものとする。また、 l の傾きは負であるとする。このとき、 C と l で囲まれた部分の面積 S を求めよ。

2

(30点)

次の問に答えよ。ただし、 $0.3010 < \log_{10} 2 < 0.3011$ であることは用いてよい。

- (1) 100 桁以下の自然数で、2 以外の素因数を持たないものの個数を求めよ。
- (2) 100 桁の自然数で、2 と 5 以外の素因数を持たないものの個数を求めよ。

3

(30点)

座標空間において原点 O と点 $A(0, -1, 1)$ を通る直線を l とし、点 $B(0, 2, 1)$ と点 $C(-2, 2, -3)$ を通る直線を m とする。 l 上の 2 点 P, Q と、 m 上の点 R を $\triangle PQR$ が正三角形となるようにとる。このとき、 $\triangle PQR$ の面積が最小となるような P, Q, R の座標を求めよ。

4

(30点)

p, q を自然数, α, β を

$$\tan \alpha = \frac{1}{p}, \quad \tan \beta = \frac{1}{q}$$

を満たす実数とする. このとき, 次の問に答えよ.

(1) 次の条件

$$(A) \quad \tan(\alpha + 2\beta) = 2$$

を満たす p, q の組 (p, q) のうち, $q \leq 3$ であるものをすべて求めよ.

(2) 条件 (A) を満たす p, q の組 (p, q) で, $q > 3$ であるものは存在しないことを示せ.

5

(30点)

n を 2 以上の自然数とする. さいころを n 回振り, 出た目の最大値 M と最小値 L の差 $M - L$ を X とする.

(1) $X = 1$ である確率を求めよ.

(2) $X = 5$ である確率を求めよ.

問題は, このページで終わりである.